

会派の意見

6月定例会を振り返って

自由民主党・無所属の会

6月定例会では、一般会計補正予算として、社会福祉等の充実、街のにぎわい創出、安全・安心なまちづくりの推進、子ども・子育て支援の充実、農業振興、災害復旧などの、約13億6700万円の増額補正予算案および各議案の審査を行いました。

現在、物価高騰や人口減少、少子高齢化進行、財政問題など、本市を取り巻く課題は山積しています。このような現状の中、限られた財源を有効に活用し、市民生活に真に必要な施策への重点的配分を、これまで以上に進めていく必要があります。

当会派は、防災・減災対策や子育て支援、地域経済の活性化など、市民の安全・安心を守る施策については着実に推進すべきであり、一方で事業の実施については費用対効果を十分に検証し、将来世代に過度な負担を残さない持続可能な財政運営が不可欠であることを求めています。

個人質問には、6人が登壇し、

ぼったくり防止条例の制定、持続可能な財政運営、人口減少時代におけるDX推進、スポーツ観光戦略など、市政の抱える諸問題について、質問が行われました。

定例会では、物価高騰への対応や市民生活の安全・安心の確保などに関する補正予算案が審議されました。厳しい財政状況を踏まえながらも、市民生活を守ることが重要であるとの立場から、予算議案および関係議案に賛成しました。

公明党

市役所の窓口時間の変更について

本市は、持続可能な市政運営や行財政改革の一環として、令和9年の本格運用を目指し、7月1日から1年間程度、市役所本庁舎、第二庁舎、たかじょう庁舎、総合あんしんセンターおよび上下水道局本庁舎の開庁時間を試行的に、「9時から16時30分まで」75分間短縮しました。そして、今回の業務変更で創出された時間や財源は、市民サービスの向上を図るため、時間外勤務短縮に加え、職員同士の情報共有や政策立案など公務効率向上につなげるとしています。

公明党では、時短運用の市民への適切な周知に合わせ、市民の皆さまのさらなる満足度向上のため

にご意見を聴取しながら「市民の声」を生かした実効性のある取り組みを求めてまいります。

市民クラブ

神岡議員は質問の際、議長に「消防の広域化に関する調査特別委員会」の設置を求め、実現に至りました。これにより消防の広域化に関し、詳細な調査研究をすることが可能となりました。広域化により本市の消防力の低下や過大な財政負担が生じることがあってはなりません。本市の安全を担保するために熟議が求められます。

次期学習指導要領に向け標準授業時数の削減及び内容の精選を求める意見書は、13対18で否決されました。昭和43年に標準授業時数を国が設定して以来、時数と内容が過多になっています。毎日6時間授業となり、子どもたちや先生たちには過度な負担です。子どもたちには遊ぶ時間を、先生たちには子どもたちに向き合うことができる教育環境を目指します。

日本共産党

市長に中東情勢の影響から地域経済と暮らしを守る緊急対策を要望

6月議会では、生活保護基準引き下げを違法とした最高裁判決を

受け、約1万4800世帯に追加給付する補正予算について、特に申し出が必要な廃止世帯やDV被害者などに十分な周知と丁寧な支援を行い、早急に全ての対象者への給付を求め、賛成しました。

小規模事業者に対する融資の保証料を拡充する補正予算は、会派として緊急要望した中東情勢の影響に苦しむ事業者を支援する事業であり、賛成しました。

意見書は「非核三原則の堅持」、「県民体育館再整備計画見直し、再検討」などを提出しました。

参政党

平成25年8月に実施された生活扶助基準の引き下げが最高裁において違法の判断となり、年内にも差額分の追加支給がされることに。まさに干天の慈雨。また、食料消費税率1%が審議中。市民生活安定に向けたこちらの行く末は。

さきがけ高知

オーテピア地下駐車場

3月から使用停止になっている。技研の最新技術として鳴り物入りで導入されたが、故障が相次ぐ。これ以上修復に時間がかかるのなら何らかの補償を求める必要がある。